

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.23
担当	防災地域支援課
グループ名	防災地域支援グループ
記入者名	

1 事業概要

(1)事業名	防犯・暴力排除推進事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	安全で住みよいまち〈都市基盤の充実〉	①会計区分	一般会計		
②大項目	交通安全・防犯	②財源区分	町単独		
③中項目	安全・安心なまちづくり	③予算科目	款	2	項 1 目 9
④施策	広報活動の充実／防犯対策の強化他	④予算事業名	防犯・暴力排除推進事業費		
⑤施策コード	3・7・2・3	掲載ページ	62	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令・条例等	小川町防犯の推進に関する条例	終了	未定	年	月まで
③事業期間	開始	不明	年	月から	

2 事業の目的・内容等

(1) 目的(何のために行うか)		(2) 内容(どのような取り組みか)	
ボランティアや職員等による防犯パトロール等を行うことで、子どもを狙った犯罪及び空き巣等の犯罪を起こさにくい地域環境づくりを推進し、安全・安心な地域社会を確立させるため。		防災無線や広報・回覧等による、各種犯罪手口の周知活動の実施。各行政区や地域ボランティア団体、個人ボランティア等のウルトラ防犯パトロール隊員によるパトロールや町職員による青色回転灯パトロールの実施。学校やPTAと連携した「こどもあんしん110番の家」の設置。	
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)		(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)	
町民及び小川警察署管内住民		防犯のまちづくりの普及、啓発を推進し、住民の高い防犯意識により、安全・安心なまち、住みよい地域環境が形成される。	
対象数	27,290	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

特殊詐欺手口の巧妙化や、侵入盗による被害が近年後を絶たない。更に、全国的に強盗被害が発生しており、これらの犯罪を食い止めるためには警察署員のみでは限界があり、自分の身を自身で守るための対策や、犯罪を起こさにくい環境づくりとして、個人宅や街頭における防犯カメラ等の設置や特殊詐欺対策機器に対する需要が高まっている。

また、地域による防犯対策も引き続き進める必要がある。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容) 項目 名称		防犯・暴力排除推進事業費				
決算・予算年度		R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳	報酬	0	0	0	0	0
	報償費	0	0	0	0	0
	需用費	259	305	305	307	332
	役務費	275	280	245	272	278
	委託料	0	0	0	0	0
	その他	531	794	779	793	779
直接事業費合計		1,065	1,379	1,329	1,372	1,389
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,065	1,379	1,329	1,372	1,389
合計		1,065	1,379	1,329	1,372	1,389
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数		0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
年間人件費		3,051	3,017	3,008	3,109	3,213
(6)総事業費		4,116	4,396	4,337	4,481	4,602
サービス量(人)		28,494	28,046	27,774	27,290	27,290
サービス単価		0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
(単位)		千円/町民1人あたり				

4 指標の検証				防犯・暴力排除推進事業費		
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	地域安全推進大会開催回数	目標値	回	1	1	1
		実績値	回	1	1	
		達成率	%	100.0	100.0	
	こどもあんしん110番の家登録件数	目標値	件	600	600	537
		実績値	件	537	537	
		達成率	%	89.5	89.5	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	ウルトラ防犯パトロール隊数 (総振目標指標p62) 令和7年度目標値43団体	目標値	団体	42	43	43
		実績値	団体	38	35	
		達成率	%	90.5	81.4	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3)その他指標に現れない成果						
ウルトラ防犯パトロール隊や青色回転灯パトロール車による見守り活動を行うことで、犯罪の抑止力となり、犯罪を起こさせにくい環境づくりができています。また、地域安全推進大会において自主防犯活動団体等を表彰し、活動意欲の向上を図った。併せて、チラシ及び啓発品を街頭キャンペーン等で配布し、周知啓発を行った。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()	
妥当性	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
効率性						
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(成果指標は向上していないものの、犯罪を起こさせにくい環境づくりができています。)	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
・小川町では、特殊詐欺や侵入盗などが毎年発生しており、予兆電話などの認知件数は増加傾向にある。年々手口が巧妙化する特殊詐欺等に対し、警察及び関係団体と情報を共有し周知・啓発を行うとともに、住民の防犯意識の向上を図る必要がある。 ・ウルトラ防犯パトロール隊やこどもあんしん110番の家について、町内の児童数の減少や学校の統廃合、更に活動協力者の高齢化等に対して事業の見直しや新たな協力者の確保が課題となっている。						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)	1 拡充	近年の犯罪情勢による、防犯対策の需要の高まりを受け、より安全・安心で住みよいまちづくりを推進するため、庁内や地域等からの要望に応じて街頭における防犯カメラ設置等の防犯対策を進める。				
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)						